

主 文

本件抗告を棄却する。

理 由

裁判所外に証人を召喚して尋問する旨の本件決定のように、訴訟手続に関し判決前にした決定は、刑訴法四三三条一項にいう「この法律により不服を申し立てることができない決定」にあたらないから（最高裁昭和二九年（し）第三七号同年一〇月八日第三小法廷決定・刑集八巻一〇号一五八八頁参照）、本件抗告の申立は不適法である。

よつて、同法四三四条、四二六条一項により、裁判官全員一致の意見で、主文のとおり決定する。

昭和五八年一〇月二四日

最高裁判所第二小法廷

| | | | | |
|--------|---|---|---|---|
| 裁判長裁判官 | 鹽 | 野 | 宜 | 慶 |
| 裁判官 | 木 | 下 | 忠 | 良 |
| 裁判官 | 宮 | 崎 | 梧 | 一 |
| 裁判官 | 大 | 橋 | | 進 |
| 裁判官 | 牧 | | 圭 | 次 |